



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 リンテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7966 URL http://www.lintec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 弘之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 柴野 洋一 (TEL) 03-5248-7713
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	118,765	△5.1	6,948	△29.3	6,490	△35.8	4,542	△36.6
2019年3月期第2四半期	125,088	1.6	9,826	△2.2	10,107	2.9	7,169	19.2

(注) 包括利益2020年3月期第2四半期 2,342百万円(△33.4%) 2019年3月期第2四半期 3,518百万円(△25.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	62.89	62.82
2019年3月期第2四半期	99.34	99.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	278,177	189,809	68.0
2019年3月期	290,320	190,226	65.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 189,200百万円 2019年3月期 189,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	39.00	—	39.00	78.00
2020年3月期	—	39.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	△5.6	13,500	△24.9	12,500	△30.5	9,000	△30.4	124.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	76,600,940株	2019年3月期	76,576,340株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,363,806株	2019年3月期	4,371,170株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	72,221,032株	2019年3月期2Q	72,166,442株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・2019年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想は修正しております。詳細につきましては、【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ (<http://www.lintec.co.jp>) に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、半導体・電子部品関連市場の生産調整の影響を大きく受けたことなどにより、売上高は118,765百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は6,948百万円（同29.3%減）、経常利益は6,490百万円（同35.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,542百万円（同36.6%減）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

【印刷材・産業工材関連】

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	60,124	61,292	1,167	1.9
印刷・情報材事業部門	42,742	43,909	1,166	2.7
産業工材事業部門	17,382	17,383	0	0.0
営業利益	2,108	770	△1,337	△63.4

(注) 2019年4月よりラベリングマシンの一部を産業工材事業部門から印刷・情報材事業部門へ移管しました。前第2四半期連結累計期間の実績は組み替えて記載しております。

当セグメントの売上高は61,292百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は770百万円（同63.4%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

(印刷・情報材事業部門)

シール・ラベル用粘着製品は、国内では宅配・通販関連が堅調であったものの、食品関連や飲料用キャンペーンラベル、化粧品などのアイキャッチラベルが低調に推移しました。海外では中国で米中貿易摩擦の影響を受けましたが、米国、アセアン地域が堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は43,909百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

(産業工材事業部門)

ウインドーフィルムは国内外ともに堅調に推移しましたが、二輪を含む自動車用粘着製品がインド市場低迷の影響を受け低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は17,383百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

【電子・光学関連】

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	45,695	38,896	△6,799	△14.9
アドバンストマテリアルズ事業部門	25,686	21,007	△4,678	△18.2
オプティカル材事業部門	20,009	17,888	△2,120	△10.6
営業利益	6,026	4,534	△1,492	△24.8

(注) 2019年4月より光デバイス関連製品をアドバンストマテリアルズ事業部門からオプティカル材事業部門へ移管しました。前第2四半期連結累計期間の実績は組み替えて記載しております。

当セグメントの売上高は38,896百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益は4,534百万円（同24.8%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

(アドバンストマテリアルズ事業部門)

半導体関連粘着テープは、市場低迷の影響を受け減少となりました。半導体関連装置は、設備投資抑制の影響を受け大幅な減少となりました。また、積層セラミックコンデンサ関連テープについても、自動車用、スマートフォン用ともに市場の生産調整の影響を受け大幅な減少となりました。この結果、当事業部門の売上高は21,007百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

(オプティカル材事業部門)

光学ディスプレイ関連粘着製品は、大型テレビ用は堅調であったものの、スマートフォン用などの中小型向けが需要低迷の影響を受け低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は17,888百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

【洋紙・加工材関連】

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	19,268	18,576	△691	△3.6
洋紙事業部門	8,170	8,506	335	4.1
加工材事業部門	11,097	10,070	△1,027	△9.3
営業利益	1,627	1,588	△39	△2.4

当セグメントの売上高は18,576百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は1,588百万円（同2.4%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

(洋紙事業部門)

隠ぺい性を付与した封筒用紙が堅調に推移したほか、建材用紙やファストフード向けの耐油耐水紙などが順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は8,506百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

(加工材事業部門)

電子材料用剥離紙は堅調であったものの、一般粘着製品用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムが低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は10,070百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は278,177百万円となり、前連結会計年度末に比べて12,142百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- ・「現金及び預金」の減少 △8,577百万円
- ・「受取手形及び売掛金」の減少 △8,037百万円
- ・「たな卸資産」の増加 2,654百万円
- ・「有形固定資産」の増加 4,294百万円
- ・「のれん」の減少 △2,211百万円

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は88,367百万円となり、前連結会計年度末に比べて11,726百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- ・「支払手形及び買掛金」の減少 △10,701百万円
- ・「長期借入金」の減少 △1,640百万円

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は189,809百万円となり、前連結会計年度末に比べて416百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- ・「利益剰余金」の増加 1,725百万円
- ・「為替換算調整勘定」の減少 △2,378百万円

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、米中貿易摩擦の長期化などによる世界経済減速の影響を大きく受け、低調に推移しました。当第3四半期以降につきましても、引き続き厳しい経営環境が継続するものと予想されます。

このような状況下、通期の連結業績は電子・光学関連製品がメーカーの生産調整や設備投資抑制などにより低調に推移する見込みであることなどから、2019年5月9日に公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2020年3月期通期連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	260,000	19,000	18,500	13,500
今回修正予想 (B)	237,000	13,500	12,500	9,000
増減額 (B - A)	△23,000	△5,500	△6,000	△4,500
増減率 (%)	△8.8	△28.9	△32.4	△33.3
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	250,942	17,977	17,993	12,937

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,148	53,570
受取手形及び売掛金	69,479	61,441
たな卸資産	40,717	43,372
その他	3,337	3,750
貸倒引当金	△85	△103
流動資産合計	175,597	162,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,452	33,040
機械装置及び運搬具（純額）	25,055	25,895
土地	11,356	11,190
建設仮勘定	5,507	5,679
その他（純額）	1,758	3,619
有形固定資産合計	75,131	79,425
無形固定資産		
のれん	25,359	23,147
その他	2,758	2,432
無形固定資産合計	28,117	25,580
投資その他の資産		
その他	11,571	11,243
貸倒引当金	△97	△103
投資その他の資産合計	11,473	11,139
固定資産合計	114,722	116,145
資産合計	290,320	278,177

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,873	42,172
短期借入金	2,531	2,100
1年内返済予定の長期借入金	3,038	3,004
未払法人税等	2,429	1,936
役員賞与引当金	69	36
その他	12,052	13,247
流動負債合計	72,994	62,498
固定負債		
長期借入金	11,622	9,982
環境対策引当金	112	111
退職給付に係る負債	14,841	14,227
その他	522	1,548
固定負債合計	27,099	25,869
負債合計	100,094	88,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,220	23,249
資本剰余金	26,842	26,871
利益剰余金	145,484	147,209
自己株式	△7,642	△7,630
株主資本合計	187,904	189,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	337
為替換算調整勘定	5,178	2,799
退職給付に係る調整累計額	△3,796	△3,637
その他の包括利益累計額合計	1,672	△500
新株予約権	160	147
非支配株主持分	488	461
純資産合計	190,226	189,809
負債純資産合計	290,320	278,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	125,088	118,765
売上原価	93,712	90,308
売上総利益	31,376	28,456
販売費及び一般管理費	21,549	21,508
営業利益	9,826	6,948
営業外収益		
受取利息	118	138
受取配当金	243	37
固定資産売却益	4	3
為替差益	281	—
受取保険金	65	10
その他	211	170
営業外収益合計	924	360
営業外費用		
支払利息	119	76
固定資産除却損	406	423
為替差損	—	203
支払補償費	15	37
その他	102	76
営業外費用合計	644	818
経常利益	10,107	6,490
税金等調整前四半期純利益	10,107	6,490
法人税、住民税及び事業税	2,763	1,929
法人税等調整額	176	44
法人税等合計	2,939	1,973
四半期純利益	7,167	4,517
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,169	4,542

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	7,167	4,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	46
為替換算調整勘定	△2,953	△2,381
退職給付に係る調整額	△522	160
その他の包括利益合計	△3,648	△2,174
四半期包括利益	3,518	2,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,520	2,369
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、日本基準を採用する当社及び国内連結子会社、並びに米国基準を採用する海外連結子会社を除き、IFRS第16号(リース)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,596百万円増加し、流動負債の「その他」が500百万円及び固定負債の「その他」が1,073百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,124	45,695	19,268	125,088	—	125,088
セグメント間の 内部売上高又は振替高	32	23	8,201	8,257	△8,257	—
計	60,157	45,719	27,469	133,345	△8,257	125,088
セグメント利益	2,108	6,026	1,627	9,762	64	9,826

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,292	38,896	18,576	118,765	—	118,765
セグメント間の 内部売上高又は振替高	28	17	8,462	8,508	△8,508	—
計	61,321	38,913	27,039	127,274	△8,508	118,765
セグメント利益	770	4,534	1,588	6,893	55	6,948

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。